



株式会社 環境保全研究所

～新しい未来へ～ ..具体的に結束... 環境社会新聞

—国際、気候、農業、地域、伝統文化、倫理教育、弱者、産業—



日本UNEP協会

購読申
込みは
→

発行人：堤九十生 環境社会新聞社〒621-0262 京都府亀岡市畑野町広野平井 3-17
☎0771-28-5041 FAX0771-28-5042 M:info@kankyousyakai.com
定価：カラー1部、年7,777円/個人、21,600円/法人(税込)
モノクロ1部、年3,888円/個人、10,800円/法人(税込)

振込口座：三井住友銀行・天満橋支店(普) 1464019 ゆうちょ銀行00960-4-298566

PDF閲覧用
今月のパスワード
本紙に記載

★環境社会新聞の購読申込みはホームページ又はFAXでお名前、ご住所、カラー・モノクロ、部数を明記して、お振込みください。

日本の、世界の環境改善に地球規模で確実に実践しましょう！

～小池百合子（東京都知事）と鈴木基之（日本UNEP協会代表理事）の対談から～

（一社）日本UNEP協会はUNEP（国連環境計画）の公式機関紙「アワプラネット」の巻末に日本と海外の活動の連携を呼びかけをしている。今回、第1号に小池東京都知事と当会の理事長の対談が掲載されているので紹介する。（3頁～5頁）

「パリ協定」米抜きで結束、米・孤立鮮明に！

ドイツ北部ハンブルクで開かれていた主要20カ国・地域首脳会議（G20サミット）は8日、首脳宣言を採択して閉幕した。米国以外の19カ国が結束して地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」に取り組むことが明記され、米国の孤立が鮮明になった。（7月9日朝日新聞発表）関連6頁（どうなるか、地球温暖化対策。）



発売予定日：2017.7.6、
本体価格 1,200円
鳩山友紀夫・柳澤協二
(かもがわ出版)

抑止力のことを学び抜いたら、究極の正解は「最低でも国外」

「かもがわ出版メールマガジン」二〇一七年Vol.761によると、「日本、世界、政治、経済、軍事、外交などをグローバルで大局的な視点から複合的に検証することで、普天間基地問題が日本と世界の問題でどう位置づけられるべきなのかよくわかります。それは抑止力という言葉の前に思考停止して、我々日本人の思考を再検証する作業でもありません。沖繩基地問題に強い関心を持つている人だけでなく、日本や世界の行く末に漠然とした不安を抱いている多くの人が読んでいただきたい本」として紹介している。

内閣支持率急落！73.9%→26.7%

加計学園説明、納得できない！81.4%

日経クイック 5月28日発表

～集中豪雨の被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。～

ムードより実践を

新清流

兼ねてより予測されていた温暖化現象が各地で現実に頻繁に起きています▼世界各地でテロも多発し、総て、予測は的中している▼原因は水の奪い合い、資源の奪い合い、食料の奪い合いであることは明白だ▼「温暖化はウソ」と茶の間を笑わした自称賢者は直ちに謝罪して共に手を繋いで取り組まねば明るい未来は遠のく▼東京都議選で「都民ファーストの会」が圧勝したことは、小池百合子氏の現実を直視した施策が評価された結果だろう▼ムードも必要だが具体的な戦略を練り上げてP・D・C・Aのサイクルを積み重ねなければ目的に近づけないのではないだろうか▼弊紙18頁の「社長百戒」の教えと同じ原理だろう。

創刊、五〇〇号
記念講演会・懇親会

日時：十一月十八日（土）
場所：未定
九月号で発表します。

紙、他資源の100%リサイクルに取り組んでいます。